



各位

平成 23 年 9 月 15 日

上場会社名 バンドー化学株式会社
代表者 取締役社長 谷 和義
(コード番号: 5195 東証一部)
問合せ先責任者 財務部長 大嶋 義孝
(TEL: 078-304-2920)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成 23 年 8 月 4 日に発表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部誤りがございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所には__線を付して表示してあります。

記

1. 訂正箇所

【訂正 1】

2 ページ

〈訂正前〉

(前略)

[伝動事業]

自動車用伝動製品：自動車用伝動製品は、震災による国内自動車メーカーの生産減の影響を受け、当社グループの主力製品であるリブエースなどをはじめとする補機駆動用ベルトやオートテンショナ、一方向クラッチ内蔵プーリ（バンドー・スムーズ・カップラー）などの補機駆動用のシステム製品の販売が、前年同期に比べ減少いたしました。

一般産業用伝動ベルト製品：一般産業用伝動ベルトは、震災復興のためのメンテナンス需要などが拡大し、前年同期に比べ販売が拡大いたしました。また、射出成型機や半導体製造装置などの需要拡大により、ゴムシンクロベルトおよびプーリが前年同期に比べ増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は129億 1 千 2 百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は21億 6 千 2 百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

[マルチメディアパーツ事業]

マルチメディアパーツ関連製品は、主力生産工場である足利工場が被災したことで併せ、顧客である電子出力機器メー

カーの生産が大きく落ち込み、クリーニングブレード、高機能ローラー、精密ベルトの販売が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は23億4千8百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は3億1千4百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

[産業資材事業]

運搬ベルト製品は、コンベヤベルトの販売が前年同期に比べ増加いたしました。一方、一方で原材料価格の高騰の影響を受け販売原価も増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は40億9千4百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント損失は3億7千9百万円（前年同四半期はセグメント利益2億3千4百万円）となりました。

（後略）

〈訂正後〉

（前略）

[伝動事業]

自動車用伝動製品：自動車用伝動製品は、震災による国内自動車メーカーの生産減の影響を受け、当社グループの主力製品であるリブエースなどをはじめとする補機駆動用ベルトやオートテンショナ、一方向クラッチ内蔵プーリ（バンドー・スムース・カップラー）などの補機駆動用のシステム製品の販売が、前年同期に比べ減少いたしました。

一般産業用伝動ベルト製品：一般産業用伝動ベルトは、震災復興のためのメンテナンス需要などが拡大し、前年同期に比べ販売が拡大いたしました。また、射出成型機や半導体製造装置などの需要拡大により、ゴムシンクロベルトおよびプーリが前年同期に比べ増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は129億1千2百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は16億9千5百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

[マルチメディアパーツ事業]

マルチメディアパーツ関連製品は、主力生産工場である足利工場が被災したことで併せ、顧客である電子出力機器メーカーの生産が大きく落ち込み、クリーニングブレード、高機能ローラー、精密ベルトの販売が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は23億4千8百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は2億1千8百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

[産業資材事業]

運搬ベルト製品は、コンベヤベルトの販売が前年同期に比べ増加いたしました。一方で原材料価格の高騰の影響を受

け販売原価も増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は40億9千4百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は1億8千2百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

（後略）

【訂正２】

9 ページ

〈訂正前〉

(前略)

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	伝動事業	マルチメディア アパーツ事業	産業資材 事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,881	2,348	4,093	1,244	20,567	356	20,923
セグメント間の内部 売上高または振替高	30	—	0	0	32	54	86
計	12,912	2,348	4,094	1,245	20,599	410	21,010
<u>セグメント利益又は損失</u> <u>(△)</u>	<u>2,162</u>	<u>314</u>	<u>△379</u>	142	2,239	27	2,267

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として新規事業であります。

(後略)

〈訂正後〉

(前略)

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	伝動事業	マルチメディア アパーツ事業	産業資材 事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,881	2,348	4,093	1,244	20,567	356	20,923
セグメント間の内部 売上高または振替高	30	—	0	0	32	54	86
計	12,912	2,348	4,094	1,245	20,599	410	21,010
<u>セグメント利益</u>	<u>1,695</u>	<u>218</u>	<u>182</u>	142	2,239	27	2,267

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として新規事業であります。

(後略)